



民児協こもろ

～民生児童委員は市民の皆さんに一番近い相談相手～

編集 小諸市民生児童委員協議会 広報部会

民生委員制度100周年を迎え

わが町の100歳に元気な秘訣をお聞きしました

家族旅行で四国にて

乗瀬にお住いの甘利嘉苗（よしたね）さんは、大正4年10月5日生まれの102歳です。お孫さん2人と長男夫婦の5人家族です。

嘉苗さんは若い頃3回も召集されました。昭和12年シナ事変で旧満州河北省・河南省・山西省へ行き、馬で衣糧を輸送する任務に当たりました。2回、3回と召集されましたが、さまざま苦難を乗り越えて故郷へ戻ってきました。戦後は小中学校の先生として活躍されました。



退職後は、公民館長や区長を10年歴任しました。さらに区長会長・八千代会長など務め、沢山の地域貢献をされました。

趣味は書道で国際親善にも役立つそうです。

さて嘉苗さんの長寿の秘訣は何だったのでしょうか？

それはお孫さんと一緒に食べる焼肉やリブステーキなどのスタミナメニューにあります。また好き嫌いはなく入れ歯でなんでもよく噛んで食べるそうです。食後はお嫁さんの入れてくれ

百歳の記念、一族のお祝いの会で



る、ぬるめの緑茶がお気に入りです。さらに好奇心旺盛でお孫さんとキャンプにも行くそうです。「おめとうの行くところには、おれも行く。」これが嘉苗さんの活力の源です。

若い頃は北海道大学へ行くのが夢だった嘉苗さん、これからお元気で長生きして下さいね。

ステッカー事例1
赤色ステッカーを貼った高齢者を発見し保護。靴に電話番号と施設名の記載があり、介護施設の入所者と判明。施設に連絡し無事引き渡すことができた。

ステッカー事例2
黄色のステッカーを貼った高齢者を市民が発見！声を掛けると上田までの切符を買い、遊びに行くとの事でした。説得し自宅に送り届け、家族に保護の旨を伝える。

靴のかかたにご注目！

～高齢者見守り活動実施中～

- ★赤色ステッカーは「すぐに保護」をしてください！
- ★黄色ステッカーは「どちらへ行かれますか？」など声かけをしてください！

- ・小諸市役所
- ・小諸市地域包括支援センター
- ・小諸警察署

- 電話22-1700
- 電話26-2250
- 電話22-0110



黄色は声かけ！



赤色は保護！

民生児童委員研修

『把握し、つなぎ、見守る』を推進しよう

東信地域で活動されている民生児童委員を対象に、10月11日(水)と11月14日(火)に佐久市コスモホールで、研修会が開催されました。

講師に泉恵造先生を迎え、「民生児童委員の活動をより充実させる為に、地域住民の生活状況の何を把握し、つなぎ、見守るのが必要な視点かについて考えよう」という内容の講義がありました。

終了間際に短時間でしたが、隣に座った人との意見



泉恵造先生

交換の時間があり、地域性や担当地区により活動の工夫や特徴、又、悩みを話し合い知ることができ、今後の活動に大いに参考となる研修会でした。



隣の人と意見交換

『二期多会』をめざして

『二期多会』。研修の最後で講師の泉恵造先生より贈られた言葉が私の心に残りました。

民生児童委員の活動は幅広い年代層やその時代に応じて様々な相談を受けることがあります。相談者の立場に立ち、もし自分だったらどうしてほしいのかを基に解決の糸口を見つける



二期目研修会

ようにしています。場合によっては、委員同士で話し合ったり、行政や専門機関に意見を求め最善な方法を考えます。私たち委員に完璧な答えが載っている教科書はありませんので、様々な委員の意見、そして豊富な委員の意見が大変に貴重です。

こうして心を開いて問題に取り組んだ仲間はとても大切な宝です。民生児童委員の委嘱を受け5年目、沢山の方々に助けられて活動をしてまいりました。

また素敵な出会いを大切に『二期目多会』をめざしたいと考えております。

二人で百歳

仲の良いおばあちゃんとお孫さんです。いつも元気なで忙しく毎日過ごされている安江さん(81歳)は、民謡、詩吟、また昔は旦那様とダンス、テニスなど色々な事に挑戦して楽しく過ごされています。

嫁がれた娘さんの息子さんの健人君(19歳)と、二人合わせて百歳です。

健人君は学業に頑張っています。また安江さんも、いつもの様に毎日いきいき過ごされています。

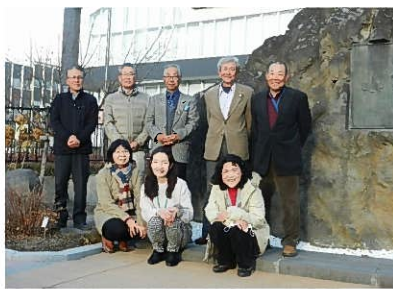


福島県南会津の湯野上温泉駅前にて二人仲良く

広報部会より

私たち広報部会は、この一年審議を重ねながら広報誌作成に取り組み、民生児童委員の角度から身近な福祉活動、実情を広く捕え市民に報告し、多面に渡る福祉現場の実態、取り組みを知って戴き、福祉全体の理解と市民協力を戴く事により、これからの市民福祉の充実と進展の手助けになればという思いで活動、報道を目指し取り組んできました。

また、民生児童委員活動を市民に少しでも理解できればとそれぞれの分野ごとの活動報告の掲載も今後進めてまいります。



福祉を民児協の目で見ても身近な広報を目指します